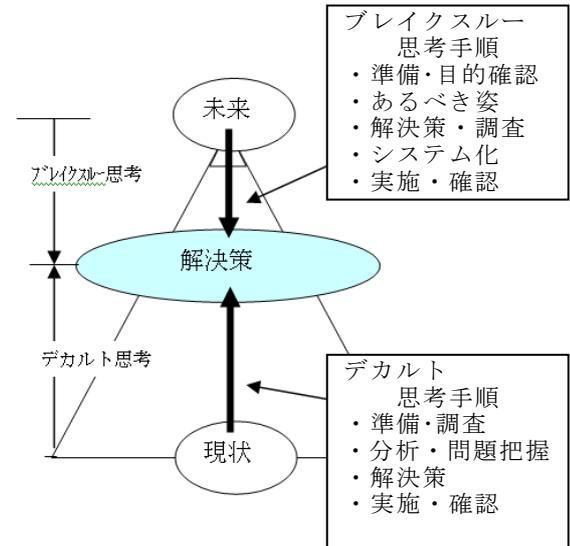


# 仕事をシステムとして捉える方法 (部分最適化から全体最適化へ)

- 仕事の基本を学び、組織や個人の能力を引き出す場を提供しています  
ブレイクスルー思考のホッパーモデルを作る (レクチャーの概略)

- 1、ものの見方で問題解決の手順が違う
- 2、2つのものの見方バラバラにしない
- 3、デカルト思考からブレイクスルー思考へ
- 4、プロセスとシステムで仕事がよく見える
- 5、目的展開でムダな仕事を減らす
- 6、目的展開からシステムホッパーをつくる
- 7、セミナー風景

ワークデザイナー 末広繁和 (作成)



## 2、2つのものの見方 バラバラにしない

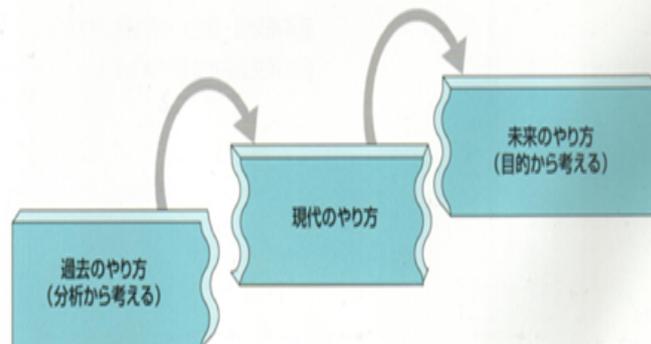
### デカルト思考とブレイクスルー思考

2つの思考エンジンを埋め込む



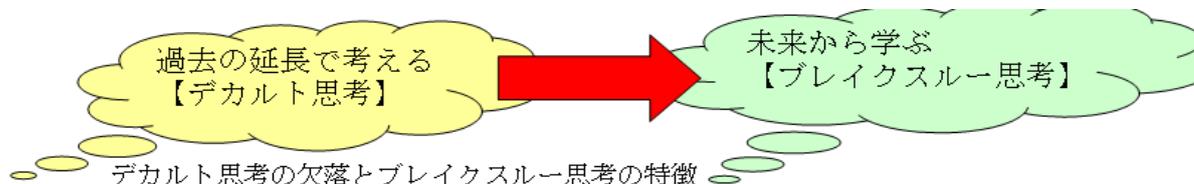
過去のやり方、未来のやり方

- 考えられないことが起こる → 国家、企業、年功序列
- ゼロサム社会 → 過当競争、誰かが勝てば、誰かが負ける
- 技術革新のデボンボ → タイプライターからワープロ
- 世界の中の日本 → 外任には勝てない、国際規格
- 企業経営まだら模様 → 経営理念で企業は決まる



出展：企画計画学 日比野省三著

### 3、ブレイクスルー思考からデカルト思考へ



デカルト思考の欠落	ブレイクスルー思考の特徴
1.バラバラにできる機械論を有機体の世界に持ち込んでいる	1.そもそも何だ？どうあるべきか？というものの 未来から学ぶアプローチ
2.分断論であり統合する論理が欠落	2.バラバラに切り離すことのできない有機体に有効に働く思考
3.部分から全体を見る論理で全体から部分を見る論理が欠落	3.本質（根本）を軸として統合する思考
4.事実探求に適するが、本質に迫る解決策の探求する思考の欠落	4.万物はシステムであり、中国の重ね箱、目的展開を行い全体から部分を見る

#### デカルト思考とブレイクスルー思考のアプローチ

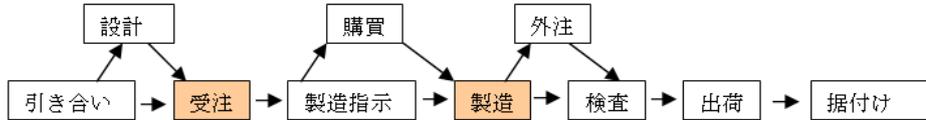
デカルト思考	ブレイクスルー思考
“分析して” から考える（機械論）	“何をしたいか” から考える
“なぜ” から一般解を求める	“何のために” から特定解を求める
過去の問題（犯人探し）中心	未来の問題（恋人探し）中心
過去から学び、類似性に注目	未来から学び、白紙で考え、ユニーク差に注目
知識偏重（知識は力なり）	創造力重視（知識の活用）
分析、疑い、置換、モグラたたき	考え、信じ、夢見て、行動

(参照)企画計画学 日比野省三著

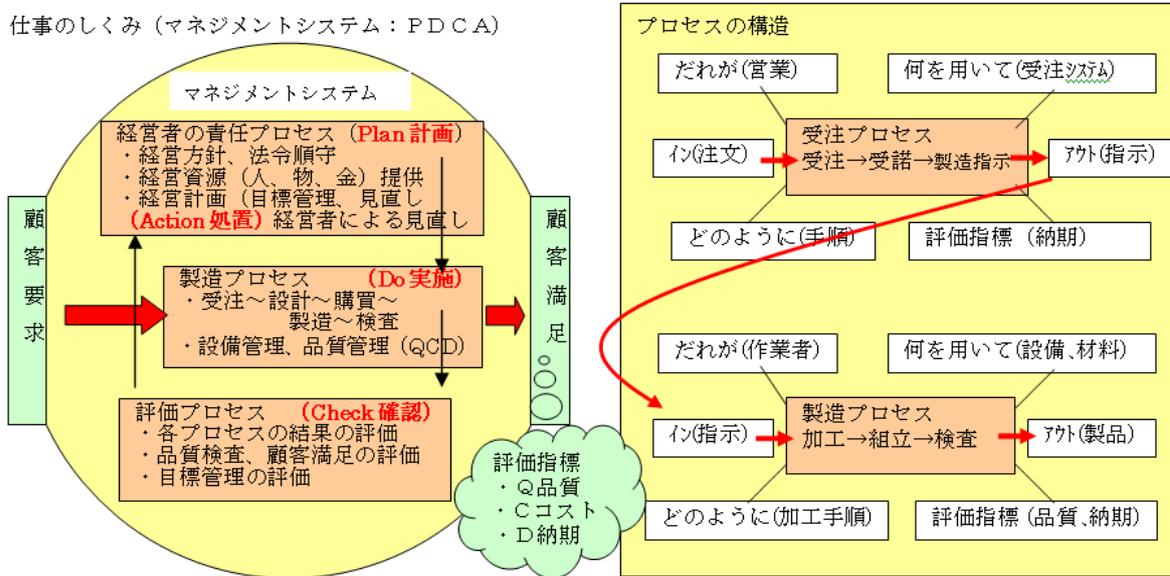
## 4、プロセスとシステムで仕事がよく見える（全体最適化）

製造プロセスの例

プロセスとは、前工程(インプット)と後ろ工程(アウトプット)がある仕事のかたまりをいう



仕事のしくみ（マネジメントシステム：PDCA）



## 5、目的展開でムダな仕事を減らす

### タイルサンプルシステムのアプローチ

#### <問題>

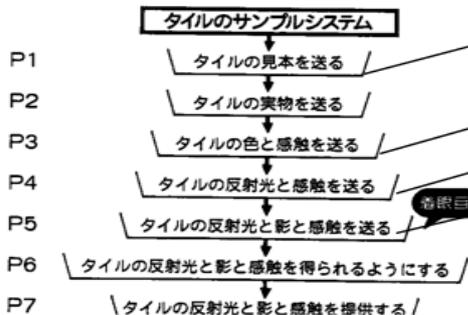
タイルメーカー昭和陶園（瀬戸市）は、全国取引先からのタイルサンプルの請求が多く、サンプル代、梱包費、輸送費などコストがかかる。長期的なタイルサンプル提供システムが必要となった。

#### <デカルト思考>

- ①タイル見本、梱包作業など現状調査
- ②どこが悪いか、何が問題かの現状分析
- ③問題に対して対策
- ④対策の実行

#### <ブレイクスルー思考>

#### 提供システムの目的展開図



大きな目的に着眼する  
小さな目的を除去する

デカルト思考

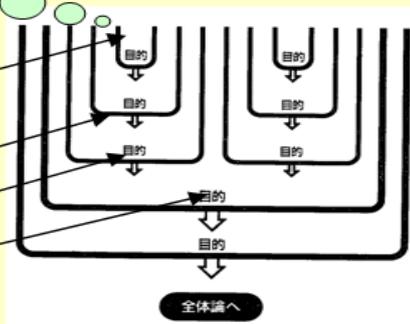


ブレイクスルー思考



#### 中国の重ね箱

大きな目的は小さな目的を包括する



出典：ブレイクスルー戦略 日比野省三著

## 6、目的展開からシステムホッパーをつくる

目的展開の原則 目的の目的を問うことであるべき姿（全体に至る）に到達する。

考え抜く力：小さな目的から大きな目的へ、抽象化能力を増す

目的展開の進め方

- 1、テーマから取り掛かりのシステムを見つける
- 2、名詞+動詞で表現（〇〇を〇〇する）
- 3、イメージ語を使用（沸騰させる、爆発させる）
- 4、否定語は禁止（しない、劣る、やめる）
- 5、変動動詞は使用禁止（増える、減るなど）

ワーク 小さな目的から大きな目的へ展開

テーマ「仕事の基本セミナーを受ける目的」

場の設定 だれ：わたし

どこで：仕事の基本セミナー

いつ：半年後

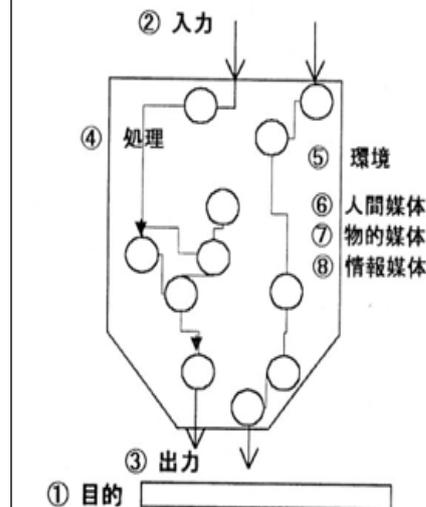
<セミナーシステム>

その目的は？ 知識を得る

その目的は

<着眼目的の具体化>

ホッパーモデル

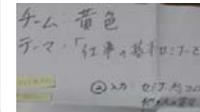


## 7、セミナー風景

### ●ワークショップの手順 (拡げて、まとめて、絞り込む)

#### ワークショップ手順

- ①着眼目的決める
- ②入力を決める
- ③出力を決める
- ④処理を考える
- ⑤環境を考える
- ⑥人的媒体
- ⑦物的媒体
- ⑧情報媒体



### ●わいわい がやがや やっています

